

子どもたちや市民の願いは 安全・快適な学校施設です

老朽化が進む上尾の学校

上尾市では、1998年から大規模改修工事(内装を新築同様にするリニューアル工事)が7校で行われました。この7校と校舎新築をした富士見小、中央小、上尾中をのぞき、残り23校では改修工事はトイレだけで、大規模な改修は行われず、その結果、一部の学校だけきれいな校舎に、残りは老朽化が進んだままです。

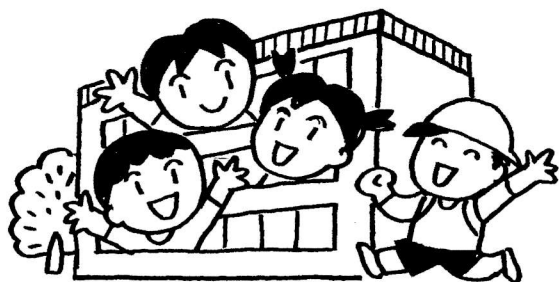
床や壁が劣化して傷みが目立ち、授業中、突然雨水が天井から落ちてきた中学もあります。

新しい基本計画の方針は

古くなった施設の 改修を先延ばし

- ◆現在ある学校の耐用年数を15年延長する。
- ◆延長のための大規模改修工事(長寿命化工事)をせず、部分的な修繕で延長する。

今ある学校施設の大規模改修・補修を急いでください



市が実施したアンケートでも、「子どもの声」として「広いロッカー」「大きい学習机」、見やすい黒板「学年が交流できるスペース」が多数でした。保護者からは「男女別の更衣室」「相談できるスペース」「不登校の子供が過ごせる場所」などの声が出ています。

計画的な大規模改修・補修で、安全で快適な、ゆとりある学校施設にしてほしいものです。

要望署名にご協力ください

要望
事項

- (1) 統廃合で、今ある学校をなくさないでください。
- (2) 今ある学校施設の、計画的な大規模改修・補修を行ってください。

ファックスでも受け取りできます。fax 048-776-4494

上尾の学校統廃合計画を考える市民連絡センター

連絡先 080-4137-4040(吉田)
Email: akaitorayohyoh1@icloud.com